

「快てきペンギン村」の開村と今後の展望について

北泊漁業協同組合青壮年部
部長 元木 照夫

1. 地域の概況

北泊漁業協同組合は徳島県鳴門市の北部、小鳴門海峡と播磨灘に面する地域に位置している(図1)。北泊漁協は平成6年1月に小鳴門漁協と旧北泊漁協が合併してできた漁協である。

2. 漁業の概要

北泊漁協の主要な漁業種類は小型機船底びき網漁業であり、小型機船底びき網漁業に関しては、北泊漁協、北灘漁協および堂浦漁協からなる徳島県北部底びき網協会に加わり、小型魚の再放流等の資源管理に積極的に取り組んでいる。

3. 研究グループの組織と運営

青壮年部活動については合併前は実質的な活動はなく、合併後に鳴門市漁業青壮年協議会の一員として、県主催の「阿波の天然食フェア」に参加したことがきっかけとなって平成7年11月に結成され現在に至っている。

4. 研究・実践活動課題選定の動機

漁業者である我々は漁業に対する知識や経験はあるものの、流通過程に対する知識や経験は不十分である。また、徳島県は海洋環境に恵まれているにもかかわらず、消費者の間では新鮮な魚介類を食べる機会が少ないという声も多く聞かれた。そこで、我々漁業者と消費者との親睦を図り、情報交換の場の造成、加えて水産物を漁業者自ら販売し、販売方法を学ぶとともに地元の新鮮な魚介類を普及させる目的で北泊漁協青壮年部を中心とした「快てきペンギン村」の開村を企画した。くわえて、この企画では水産物の販売のみにとらわれず、漁協や地域の振興を目的とする多角的な活動を目指した。なお、「快てきペンギン村」という名前をつけた理由は、ペンギンは魚の捕獲が上手い鳥であり、「北泊漁協青壮年部」という名前より親しみやすく覚えやすいと考えたからである。

5. 研究・実践活動状況及び成果

今までの活動の概要を表1に示した。

「快てきペンギン村」の開村に先立ち、和歌山県雑賀崎漁協の出荷形態および和歌浦湾水産公社展示販売施設について視察を行い、漁獲物の出荷形態および水産物展示販売施設の運営について学習した。そのほかに、和歌山県の黒潮市場や徳島県内の水産物直販事業等についても視察を行った。これらの視察によって、水産物の直販事業や今後の事業展開についての参考とした。

北泊漁協青壮年部の元木照夫部長を「快てきペンギン村」の村長と決め、独自の組織を形成した(図2)。

平成10年5月26日に北泊漁協前にて開村式を行った(図3)。開村式では地元の子供たちを招待し、魚のつかみ取りや海鮮バーベキューを楽しんでもらった。開村式を行ったことにより「快てきペンギン村」開村の目的を知ってもらうことができ、6月から始まる直販事業に対する効果的な宣伝も行うことができた。

平成10年6月から毎月第4土曜日に、水産物の直販事業を北泊漁協前で開始した(図4)。直販事業と同時に、新鮮な水産物をその場で味わってもらうため、海鮮バーベキューも行えるように工夫した。この直販事業を広く知ってもらう目的で、直販事業前日には新聞の折り込み広告による宣伝を行った(図5)。この直販事業では、新鮮な地元の魚が安い値段で購入できるということもあり、毎回多くの買い物客が訪れている。

鳴門市内の小学校において「瀬戸の水産業」というテーマで授業を行った(図6)。小学校での水産業に関する授業は教科書中心で総論的であるが、今回のような地元の漁業者自身の授業によって、生徒たちは地元の水産業についての知識を十分に得られたと考えられた。また、漁業および漁業者に対する親近感や正しい理解が得られたと考えられた。

鳴門市民の一員として地域の活性化に貢献できないかと考え、住民参加型ミュージカルを主催し、出演者の一部としても参加した(図7)。同時に、漁業および漁業者に対する理解や既存のイメージの変革を目指すため、漁業者以外の人々との交流も目的とした。このミュージカル自体は多数の観客を動員できたため、多くの人々と交流でき、「快てきペンギン村」の活動目的についても理解していただけたと考えられた。

これらの活動については、青壮年部以外の漁業者や婦人部も参加して行われた。このため、地域内の交流の促進や活性化も行なわれた。

7. 今後の計画

現在は月に1度水産物の直販事業を行っているが、将来的には常設市場の開設およびインターネットによる販売を目指している。また、独自ブランドの海産物を開発することにより水産物の付加価値と知名度を上昇させる。多獲性魚や低利用魚に対しては加工方法の工夫等により資源の有効利用と付加価値の向上を図り、必要ならば加工場の設置も検討する。さらに、水産物の販売以外の消費者との交流についても考える。そして、これらを目標としながら、他の団体との共同による鳴門市の観光拠点の造成、および水産業の発展を目指す。

表 1 「快てきペンギン村」の活動の概要

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・先進地の視察(和歌山県雑賀崎漁協, 和歌浦湾水産公社, 黒潮市場, 県内の水産物直販事業等)・独自の組織形成・開村式による外部へのアピール・水産物の直販事業(毎月第4土曜日)・小学校での授業・ミュージカルの主催 |
|---|

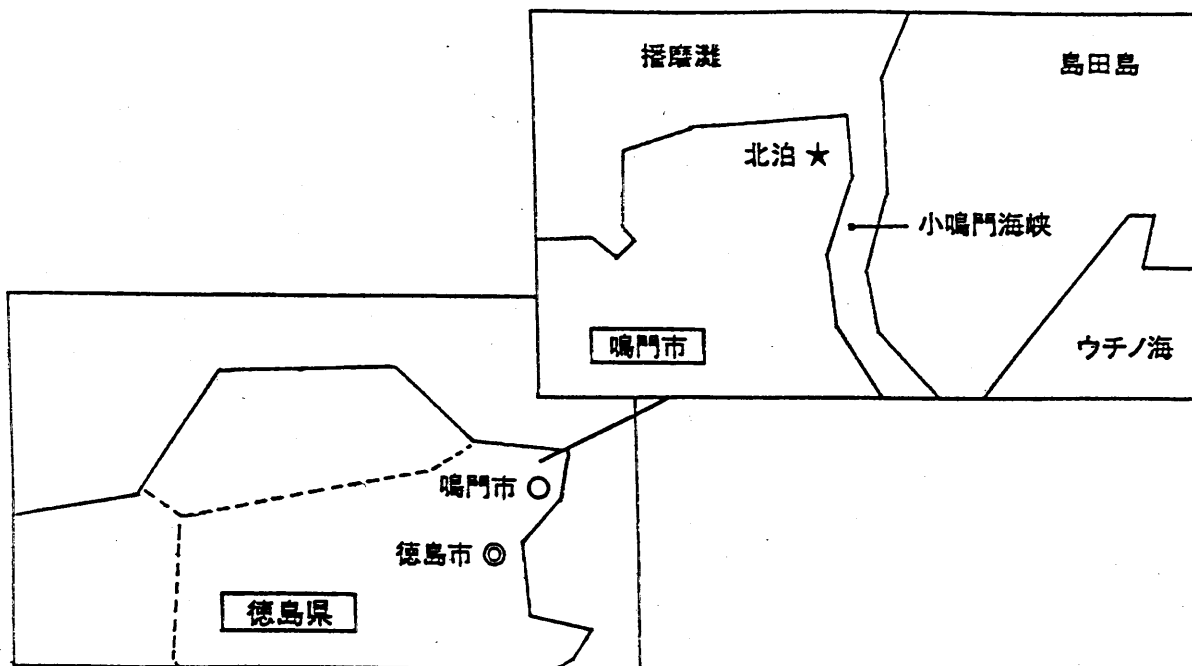


図 1 北泊漁業協同組合の位置

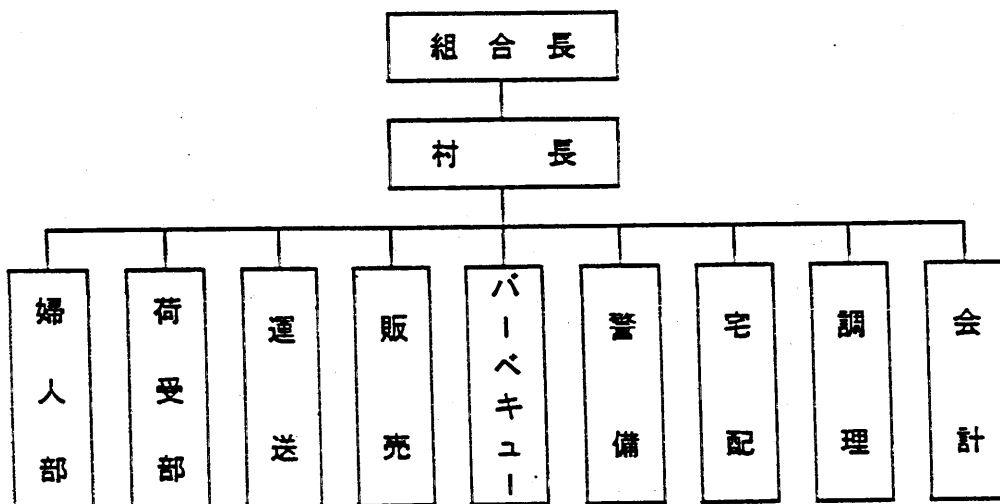


図 2 「快てきペンギン村」の組織構成図

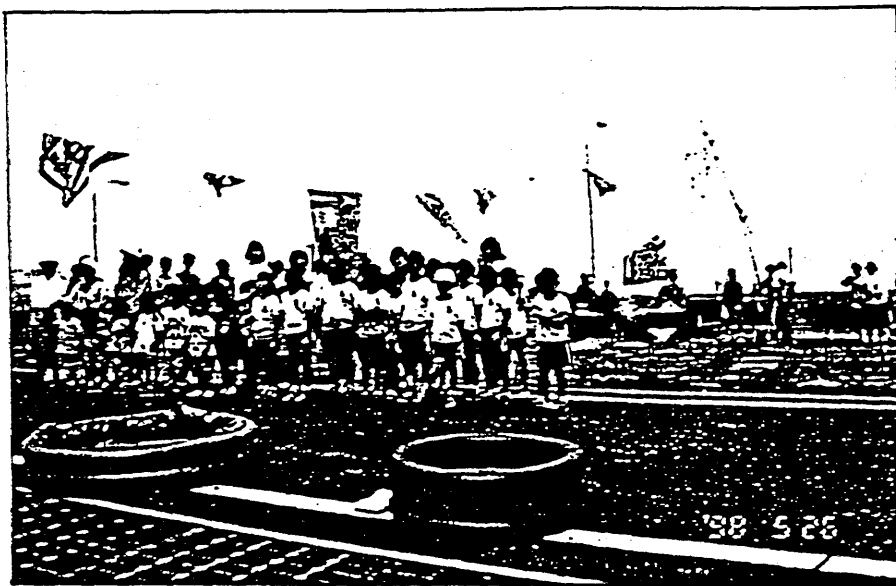


図 3 「快てきペンギン村」開村式の様子



図 4 「快てきペンギン村」直販事業の様子

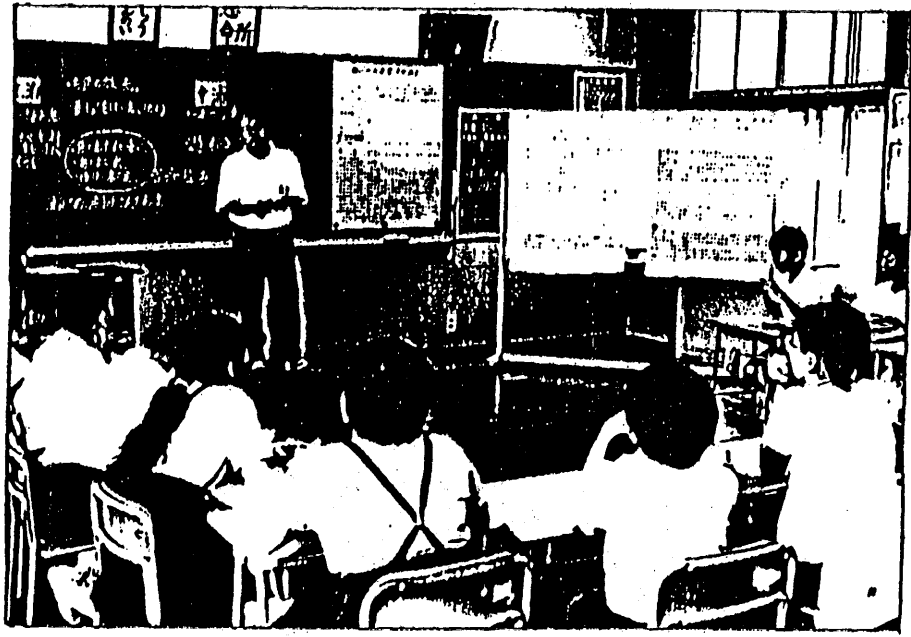


図 6 地元の小学校での授業の様子

快てきペンギン村

朝市

《日・時》第4土曜日(毎月)
平成10年11月28日

《場所》北泊新港(下図参照)
(午前9:00販売開始)

売り切れ御免

《今月のお奨め品》

はげ 100g 80円・いか 100g 30円
えび・たこ・たい・ぼうぜ・さざえ
大あさり・干かれい・その他

☆お買い上げ頂いた魚、その場で
バーベキュー出来ます

快てきペンギン村

北泊漁協
北泊漁協婦人部
鳴門市瀬戸町北泊209
TEL (0886) 88-0131
FAX (0886) 88-0170

図 5 「快てきペンギン村」直販事業の折り込みチラシ



平成10年 9月3日(木)

会場 鳴門市文化会館

主催・快てきペンギン村

お問い合わせ：鳴門市自治振興人権室

開場 PM6:00 開演 PM6:30

☎0886-84-1189

応援・鳴門ミュージカル実行委員会

後援・鳴門市、鳴門市教育委員会、鳴門市チャレンジ徳島推進協議会

特別協賛・徳島銀行 共催・チャレンジ徳島推進協議会、徳島新聞社 企画協力・産経新聞社

図 7 「快てきペンギン村」主催のミュージカルのパンフレット